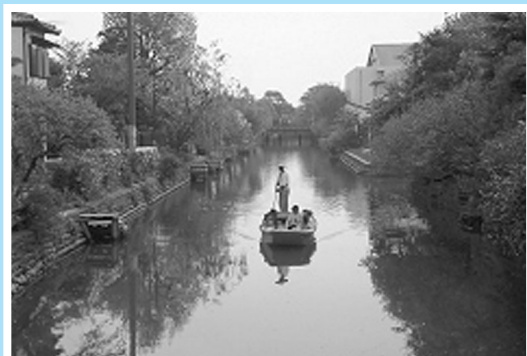


第54回 福岡県公民館大会



北原白秋生家



柳川川下り



御花

平成21年8月5日(水)柳川市民会館

主催 福岡県公民館連合会
福岡県教育委員会

第54回 福岡県公民館大会によせて



福岡県公民館連合会会長 中嶋 裕史

この度、石田宝蔵会長の後任として、福岡県公民館連合会会長に就任しました中嶋でございます。これまで、先人が築いてこられました本県公民館連合会の輝かしい業績と歴史を踏まえつつ、本県公民館活動の一層の充実に向けまして、精一杯努めてまいり所存でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日、第54回福岡県公民館大会が、北原白秋のふるさと、水郷のまち柳川市におきまして、県内各地から多数の公民館関係の皆様にご参加をいただき、このように盛大に開催できますことを、心から嬉しく思っているところです。

また、永年にわたり、本県公民館活動の発展に御尽力いただきました方々や公民館に対しまして、県公民館連合会として表彰させていただきますが、表彰を受けられます皆様には、これまでのご功績に心から敬意を表し、深く感謝申しあげる次第でございます。

さて、公民館は、地域住民の学習活動や交流の拠点施設として、地域の実態に即した公民館活動を展開するなど、活力と潤いのある地域社会の創造に大きく貢献をしております。

しかし、社会情勢が急激に変化する状況の中で、これからの公民館には、公の施設が持つ行政サービスという使命を踏まえつつも、多様化・高度化する地域住民の学習ニーズや現代的課題への対応など、社会教育法に位置づけられた教育機関としての機能の充実が、今までにも増して強く求められるものと考えております。

折しも今年は、社会教育法制定から60年という記念すべき年であります。このような節目となる時期に、本県では、次代を担う子どもの育成に向けて、県民総ぐるみで取り組む「教育力向上福岡県民運動」がスタートしました。

この運動の背景にある「子どもの実体験」や「家庭・地域の教育力向上」といった課題は、まさに、これまで社会教育とりわけ公民館が取り組んできた課題と重なるものであり、その意味からも、本県公民館活動に対する人々の期待は、今後一層高まるものと思っています。

本日の大会では、このような視点を踏まえまして、放送大学愛媛学習センター所長の讃岐幸治様に「体験活動を通じた青少年の自立とこれからの社会教育」の演題で御講演いただきます。また、午後からは、教育力向上福岡県民運動についての説明の後、大会テーマである「教育力向上福岡県民運動の推進と公民館」について、シンポジウムを通して協議を深め、これからの公民館活動の具体的な方策を探りたいと考えていますので、最後まで参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

終わりに、本大会の開催に当たり、多大なるご尽力をいただきました地元柳川市をはじめ、関係各位に心から感謝申し上げますとともに、ご参加の皆様、今後ますますのご活躍とご健勝を祈念いたしまして、あいさついたします。

第54回 福岡県公民館大会開催要項

1 趣 旨

近年、少子・高齢化、都市化、情報化等が急速に進む中、家庭や地域の教育力の低下、地縁的なつながりの希薄化等が指摘されている。

そのような中、本県では、「志をもって意欲的に学び、自律心と思いやりの心をもつ、たくましい子ども」の育成に向け、子どもの実体験の促進や家庭・地域の教育力の向上等を目指す教育力向上福岡県民運動が展開されており、今こそ公民館は、地域における社会教育の拠点として、この運動推進の一翼を担うことが期待される場所である。

そこで、県内の公民館関係者が一堂に会し、本運動の意義等について理解を深めるとともに、今後の公民館活動のあり方を探求し、以て公民館活動の一層の充実発展に資する。

2 大会テーマ 「教育力向上福岡県民運動の推進と公民館」

3 主 催 福岡県公民館連合会、福岡県教育委員会

4 主 管 柳川市教育委員会

5 後 援

福岡県、柳川市、福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県市町村教育委員会連絡協議会、福岡県社会教育委員連絡協議会、福岡県視聴覚教育協会、福岡県青少年問題協議会、福岡県 P T A 連合会、福岡県地域婦人会連絡協議会、福岡県青年団協議会、福岡県子ども会育成連合会、福岡県文化団体連合会、福岡県明るい選挙推進協議会、福岡県金融広報委員会

6 期 日 平成21年8月5日（水）

7 会 場 柳川市民会館

〒832-0076 柳川市坂本町29-2

TEL 0944-72-5168

8 参 加 者 約1,000名

公民館職員、公民館運営審議会委員、自治（町内）公民館関係者、社会教育委員、行政関係者、公民館利用者、学校教育関係者

9 日 程

9:30～10:15	受付	
10:15～11:00	大会式典	・主催者あいさつ ・来賓祝辞 ・表彰式 ・日程説明
11:00～12:10	記念講演	「体験活動を通じた青少年の自立とこれからの社会教育」 放送大学愛媛学習センター 所長 讃岐 幸治 氏
12:10～13:10	昼食	
13:10～13:40	説明	「教育力向上福岡県民運動」の展開と公民館 福岡県教育庁教育企画部企画調整課 企画監 瓜生 郁義
13:50～15:50	シンポジウム	コーディネーター 大野城まどかぴあ 館長 林田 スマ 氏 シンポジスト 飯塚市穂波公民館 館長 松原 克彦 氏 柳川市立蒲池中学校 教頭 古賀 靖紀 氏 豊前市教育委員会教育課 社会教育係長 栗焼 憲児 氏 筑紫区小学校PTA連合会 会長 西村 澄子 氏
16:00	閉会	

福岡県公民館連合会表彰

祝

平成21年度公民館役職員表彰

平成21年度優良公民館表彰

平成21年度福岡県公民館連合会公民館役職員表彰一覧

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績(分野及び内容)
公立公民館	1	福岡市	高倉 勝利	東区 かすみがおかこうみんかん 香住丘公民館	館長	【地域づくり】 「地域ボランティア養成講座」を開催し、地域と緻密な連携を図ってきた。また、地域の様々な課題を見出し、解決に向けた事業を展開してきた。
	2		木原 富士子	東区 かしはまこうみんかん 香椎浜公民館	主事	【青少年教育】 永きに渡り、学校五日制事業「自然教室」を実施し、「いつでも、気軽に、楽しい」をキーワードに公民館来館者の増加に貢献した。
	3		大田 奨	東区 こうりょうこうみんかん 香陵公民館	館長	【地域づくり】 斬新な内容の展開で校区の子供から大人まで公民館活動への興味・関心を高めることに尽力した。自治協議会「あすねっと香陵」を設立した。
	4		堺 雅子	東区 みとまこうみんかん 三苦公民館	主事	【家庭教育】 「にこにこふれあい広場」や「明るい家庭づくり学級」を通し、保育園との連携やボランティア、リーダー養成など地域の教育力向上に尽力した。
	5		相 正和	中央区 ひらおこうみんかん 平尾公民館	前館長	【地域づくり】 高齢者教室を主催し、特に、子どもと高齢者の交流事業に力を入れ地域コミュニティづくりに尽力した。また、「人権のまちづくり」を中心に支えた。
	6		藤 保憲	南区 おきこうみんかん 日佐公民館	館長	【公民館施設の管理・運営】 地域の社会教育充実のための公民館事業の運営見直しに先駆的役割を果たした。また、校区活動のリーダー的存在として多大な貢献をした。
	7		谷川 知通子	南区 のためこうみんかん 野多目公民館	主事	【公民館施設の管理・運営】 公民館施設の提供や生涯学習情報の提供など公民館が担う役割を忠実にはたし、「乳幼児ふれあい学習」に参加している保護者を対象に地域リーダー育成を図った。
	8		吉村 亮子	城南区 とりかいこうみんかん 鳥飼公民館	主事	【地域づくり】 「遊び隊ゲンキッズ」という事業を立ち上げ、キャンプや公民館での合宿などを企画し、元気な子どもたちの育成や、青少年の健全育成に貢献した。

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績（分野及び内容）
公立 公民館	9	福岡市	深見英子 ふかみ えいこ	早良区 ありずみこうみんかん 有住公民館	主事	【地域づくり】 子育てサロンにおいて地域ボランティアの育成、地域コミュニティの活動支援に貢献した。発達障害を考えるグループの自立支援に尽力した。
	10		関敏巳 せき としみ	西区 のここうみんかん 能古公民館	館長	【地域づくり】 コミュニティ活動の場としての公民館運営に取り組み、地域住民の結びつきを深めたり、花の島を実現するなど、公民館運営を通して地域づくりに貢献した。
	11	柳川市	池末剛 いけまつ つし	しろうちこうみんかん 城内公民館	前館長	【青少年教育】 中学生とともに地域の清掃活動を行ったり、大人と中学生の意見交換会を開催し、地域のリーダーとして青少年健全育成に貢献した。
	12	柳川市	小宮大吉 こみや だいきち	ありあけこうくこうみんかん 有明校区公民館	主事	【地域づくり】 「安全安心パトロール」などの実施や、地域づくりのリーダーとして住みよい生活環境づくりと地域課題の解決に努め、生涯学習環境の整備に大きく貢献した。
	13	行橋市	屏幸恵 へい ゆきえ	ひえだこうみんかん 稗田公民館	主事	【団体育成・サークル活動】 女性学級、子ども講座の開設及び、自主学習グループの育成など、地域に根ざした生涯学習の推進・公民館活動活性化に尽力した。
	14		齋藤周三 さいとう しゅうぞう	こうみんかんうんえいしんぎかい 公民館運営審議会	委員	【高齢者教育】 高齢者教育に関する助言・提言をし、公民館活動の活性化を図り、地域に開かれた公民館活動の振興・充実など気軽に利用しやすい公民館づくりに貢献した。
	15	朝倉市	森田靖久 もりた やすひさ	やすかわこうみんかん 安川公民館	前公民館主事	【地域づくり】 健康づくり、地区の防犯、高齢化社会に対応した地域づくり、人材育成など事務的な支援をし、11年間にわたり、公民館活動の柱である生涯学習事業に努めた。
16		石川裕子 いしかわ ゆうこ	みなぎこうみんかん 三奈木公民館	前公民館主事補	【地域づくり】 積極的に地域住民と交流を行い、配食サービスにおける献立作成に携わり、高齢化社会へ対応した地域づくりに貢献した。	
17	水巻町	小野元次 おの げんじ	みずまきちゅうおう 水巻町中央 こうみんかん 公民館	前館長	【地域づくり】 15年以上公民館職員として従事し、「高齢者の生きがいづくり」に資する高齢者大学を設置し、ボランティアを学校派遣に結びつける学社融合を先進的に行った。	
自治（町内） 公民館	18	北九州市	蓮尾學 はすお まなぶ	若松区 だいきゅうくこうみんかん 第9区公民館	館長	【地域づくり】 教養・文化活動の充実を図ると共に、地域住民のふれあいの輪を大切にし、行事を通して、明るく住み良い街づくりに貢献した。
	19		平安武俊 ひらやす たけとし	若松区 たけなみこうみんかん 武並公民館	館長	【団体育成・サークル活動】 体育行事の充実を図り、社会教育の浸透に寄与し、公民館活動を通じて、年長福祉や青少年の健全育成、地域文化の向上に貢献した。
	20		大林正治 おおばやし まさはる	門司区 おつみこうみんかん 大積公民館	館長	【地域づくり】 今年24年を迎える親睦運動会や敬老会、盆踊り大会、囲碁大会、親子ふれあいケーキづくり等、地域行事、文化の発展に積極的に貢献した。

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績(分野及び内容)	
自治(町内)	21	北九州市	岩本 吉規 <small>いわもと よしのり</small>	門司区 丸山公民館 <small>まるやまこうみんかん</small>	館長	【地域づくり】 第20代の館長として、地域住民との積極的なコミュニケーション、高齢者の健康づくり、青少年の健全育成など幅広い活動の展開に貢献した。	
	22		竹原 穂 <small>たけはら みのる</small>	八幡東区 枝光第一区公民館 <small>えだみつだいいっくこうみんかん</small>	館長	【地域づくり】 友愛訪問活動、区民防火活動、ジュニアリーダー育成講習会等地域住民・各団体との連携を促進し自治公民館の運営・発展に貢献した。	
	23		藤田 勝義 <small>ふじた かつよし</small>	八幡東区 東台良公民館 <small>ひがしだいらこうみんかん</small>	館長	【地域づくり】 盆踊り大会やミニレクレーション大会を通じ、青少年から、高齢者まで幅広い交流の実践に尽力し、住民の交流、あいさつ、清掃運動の活性化に貢献した。	
	24		和田 次親 <small>わだ つぎちか</small>	八幡西区 泉ヶ浦公民館 <small>いづみがうらこうみんかん</small>	館長	【青少年教育】 地域の幅広い年齢層の方が参加できるような事業を企画・実行し地域づくりに貢献した。特に、青少年健全育成に尽力した。	
	25		岡本 寛治 <small>おかもと かんじ</small>	八幡西区 春日台公民館 <small>かすがだいこうみんかん</small>	館長	【地域づくり】 多彩な地域行事開催の中心となり、幅広い年齢層の方が参加できるような事業の企画・実行に尽力した。公民館の環境整備にも貢献した。	
	26		澁田 英隆 <small>しぶた ひでたか</small>	八幡西区 はちまん公民館 <small>こうみんかん</small>	館長	【地域づくり】 グランドゴルフ大会、餅つきなどの多彩な地域行事開催の中心的役割を担い、公園、駅周辺等の清掃活動を通じて、快適な住環境づくりに尽力した。	
	27		土屋 征一 <small>つちや せいいち</small>	八幡西区 折尾西公民館 <small>おりおにしこうみんかん</small>	館長	【青少年教育】 「折尾子ども山笠」の実施にあたっては、子どもの安全を最優先にサポートし、地域の青少年健全育成に尽力した。	
	28		志波 一馬 <small>しわ かずま</small>	八幡西区 香月西区公民館 <small>かつきにしくこうみんかん</small>	館長	【地域づくり】 歩こう会などのスポーツ事業や盆踊り、どんど焼きなど、多彩な地域行事開催の中心的役割を担い、住みよいまちづくりのために尽力した。	
	29		川端 健次 <small>かわばた けんじ</small>	八幡西区 浦田公民館 <small>うらたこうみんかん</small>	館長	【地域づくり】 一人暮らしの高齢者の方々が、気軽に参加できる事業を企画・実施した。また、清掃などを通じて、住環境づくりに貢献した。	
	館	30	久留米市	淵上 知宏 <small>ふちがみ ともひろ</small>	南薫校区 コミュニティセンター <small>なんくんこうく</small>	館長	【地域づくり】 地域住民の学習ニーズ等を充分に取り入れた公民館運営に取り組み、地域づくりや連帯の強化、青少年健全育成に貢献した。
		31		吉武 明利 <small>よしたけ あきとし</small>	下青木公民館 <small>しもあおきこうみんかん</small>	館長	【地域づくり】 子供会・婦人会・敬老会といった地区の様々な組織、年齢層を対象とし、地区を越えた連携交流にも配慮し、公民館を通してものづくり、人づくりへ貢献した。
		32	飯塚市	高岡 勝 <small>たかおか かつ</small>	かみみおだいさんじち 上三緒第三自治 公民館 <small>こうみんかん</small>	館長	【地域づくり】 文化・体育活動の向上や社会福祉の増進に努め、個人としても指導者や講師となり郷土愛の育成や生涯学習の普及に尽力した。

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績(分野及び内容)
公立 公民館	33	飯塚市	岡田 政則 おかだ まさのり	新飯塚西 公民館 しんいづかにし こうみんかん	館長	【地域づくり】 地域で行われる盆踊り大会や地区住民運動会などに積極的に係わり、地域コミュニティ活動や地域住民の連帯意識を高めてきた。
	34	八女市	徳永 意信 とくなが いのぶ	吉田自治 公民館 よしだじち こうみんかん	館長	【地域づくり】 14年間にわたり公民館活動に参画。毎年県内外の自治公民館の視察研修を実施するなど、積極的な館の運営に取り組んだ。
	35	筑後市	内野 重雄 うちの しげお	筑後校区 公民館 ちくごこうく こうみんかん	前館長	【地域づくり】 和泉東公民館において、楽しい地域イベントをテーマに、幼児から高齢者まで、集い交流する区民まつりを開催し、地域の活性化に貢献した。
	36	筑後市	富安 隆 卿 とみやす たかあき	下妻校区 公民館 しもつまこうく こうみんかん	前館長	【地域づくり】 学社連携事業として水田を使ったドロリンピックや、環境フェスタ、しめ縄づくり、もちつき大会など公民館活動の活性化に貢献した。
	37	大川市	東 清 二 ひがせ せいじ	幡保町公民館 はたほまちこうみんかん	館長	【地域づくり】 隣組対抗の「グランドゴルフ」を通し、より豊かなコミュニティの形成に尽力し、田んぼでの「ガタバレー」などの企画・実施をしてきた。
			原田 宗 喜 はらだ むねき	明治町公民館 めいじまちこうみんかん	館長	【地域づくり】 野外活動やレクリエーション、スポーツ活動等を推進し、親子の絆と世代間交流の深まり、家庭の教育力の高まりに寄与した。
	39	中間市	柴田 弘 美 しばた ひろみ	新手公民館 あらてこうみんかん	館長	【地域づくり】 夏休み中のラジオ体操、プール引率、盆踊り等の実施、親子のふれあいや高齢者がつどい、健康で住みやすい地域づくりの活性化に貢献した。
			宗藤 久 行 むねとう ひさゆき	岩瀬南町 公民館 いわせみなみまち こうみんかん	館長	【地域づくり】 公民館情報を共用化するため公民館だより「みなみ」を創刊し、地域住民が親しめる公民館活動の振興と発展に尽力した。
	41	筑紫野市	森川 耕 造 もりかわ こうぞう	美しが丘南 公民館 うつく おかみなみ こうみんかん	館長	【地域づくり】 公民館事業として環境問題に取り組み、地域貢献を目的とする「そむちゃクラブ」の活動を支援するなど、青少年健全育成に貢献した。

祝 平成21年度福岡県公民館連合会優良公民館表彰一覧

種別	番号	市町村名	公民館名	所在地	館長名	敷地面積
						m ²
公立 公民館	1	福岡市	みとま こうみんかん 三苦公民館	〒811-0201 福岡市東区三苦3丁目3-41 ☎(092)606-4511	濱謙次郎	842.65
	2	福岡市	あたごはま こうみんかん 愛宕浜公民館	〒819-0013 福岡市西区愛宕浜4-41-10 ☎(092)885-4551	麻生昭雄	661
	3	朝倉市	たかぎ こうみんかん 高木公民館	〒838-0072 朝倉市黒川3968-2 ☎(0946)29-0750	手島牧男	678
自治(町内) 公民館	4	八女市	かみしんじょう じち こうみんかん 上新庄自治公民館	〒834-0022 八女市新庄1708番	牛島勝喜	1,334
	5	大川市	ろくちょうない こうみんかん 六町内公民館	〒831-025 大川市大字向島2430番地1	大木康伸	201.8

施設・設備の状況				特 色
建物延面積	構 造	建築年月日	主な設備	
m ² 496	R C 造 2 階 建	H11.4.1	講 堂 児 童 等 集 会 室 地 域 団 体 室 学 習 室 和 室	「乳幼児ふれあい学級」や「明るい家庭づくり学級」を通して、未就学児の育成や母親育成に力を入れると同時に、地域ボランティアや地域リーダーの育成等に力を入れ、地域から絶大な信頼を得ている。
m ² 496	R C 造 2 階 建	H11.3.15	事 務 室 講 堂 学 習 室 地 域 団 体 室 和 室	講座内容を工夫し、高齢者の生きがいづくり、さらには地域の様々な活動への参画を支援するために新しい知識や技術を習得する機会を提供し、また子どもの健全育成事業として生活体験、社会体験、自然体験などを行ってきた。
m ² 153	木 造 1 階	S53.3	事 務 室 調 理 室 集 会 室	過疎化が進む当該地区の活性化のため、ほたるを保存する環境づくりに取り組んでいる。また、少ない地域人口であるが故に、公民館と任意団体である「むらおこし対策協議会」が、連携、共同して活動を実施している。
m ² 239.32	木 造 平 屋	H19.3.23	大 ホール 和 室 1 和 室 2 調 理 室	高齢化が進み、若者層の公民館離れが進む中、青壮年部（わけもん会）を創設し、この会が、町内行事から公民館事業まで、あらゆる活動の実施主体となり、まちづくりの原動力になっている。
m ² 118.3	鉄 骨 造 平 屋 建	H7.3.20	集 会 場 和 室 1 炊 事 場 そ の 他	地域清掃・美化運動への関心が高く、下水道や筑後川の清掃には多くの参加者が集まる。デイ・サービス活動は、モデル事業として10年に及び、高齢者の健康増進と生きがいづくりを積極的に推進している。

記念講演

「体験活動を通じた青少年の自立とこれからの社会教育」



放送大学愛媛学習センター 所長
讃岐 幸治

[講師プロフィール]

昭和15年鹿児島県生まれ。昭和46年から愛媛大学に勤務。以後、附属小学校校長、附属図書館館長などを経て、現在、放送大学愛媛学習センター所長、愛媛大学名誉教授。

[専門分野]

社会教育学（生涯教育を含む）、青少年教育、ボランティア学習、まちづくり、社会教育施設（公民館など）、学社連携・融合。

[現在の役職、委員など]

文部省「女性の社会参加支援と特別推進事業に関する企画運営委員」、「全国ボランティア活動情報提供・相談窓口企画委員」、日本ボランティア学習協会代表理事などをはじめ、第四期中央教育審議会専門委員を務める。

なお、地元愛媛にあっては、学び舎えひめ悠々大学（県民カレッジ）学長、愛媛県社会教育委員会会議議長、地域教育実践交流会代表世話人など。

[主な著書など]

『生涯学習』ミネルヴァ書房、『ライフサイクルと共有』青葉図書、『生涯学習社会』ミネルヴァ書房、『人間発達の社会学』アカデミア出版、『豊かな体験が青少年を育てる』共著 全日本社会教育連合会など。

==== x ㄷ ====

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.

説 明

「教育力向上福岡県民運動」の展開と公民館

福岡県教育庁教育企画部企画調整課

企画監 瓜生 郁義

＝ ｘ ｴ ＝

Blank area with horizontal dotted lines for writing.

シンポジウム

『教育力向上福岡県民運動の推進と公民館』

<コーディネーター>



大野城まどかぴあ 館長 **林田 スマ**

元RKB毎日放送アナウンサー、退職後9年間の専業主婦を経てアナウンサーの仕事に復帰。平成8年からまどかぴあの仕事に就き、現在、大野城まどかぴあ館長、男女平等推進センター所長。平成16年九州大学大学院人間環境学府修士課程終了。福岡県社会教育委員、教育力向上福岡県民会議委員などを務める。

理想的な教育環境とは家庭や学校のみならず地域力が子どもを取り囲むこと。今こそ大人たちが緩やかなネットワークを形成して楽しみながら子育て支援に取り組むときである。

<シンポジスト>



飯塚市穂波公民館 館長 **松原 克彦**

1956年福岡県飯塚市（旧穂波町）生まれ。平成15年穂波町教育委員会社会教育課社会教育係長、平成18年3月に1市4町が合併し、飯塚市生涯学習課生涯学習係長、平成20年度より飯塚市穂波公民館長として現在に至る。

旧穂波町時代に、小学校の余裕教室を活用し、子どもの基本的生活習慣と基礎学力の向上を図る「子どもマナビ塾」、高齢者の生きがいづくりとして、“教えあう、学びあう、そして学校支援ボランティア活動”を基本とした「熟年マナビ塾」を展開し、平成19年度より、市内全小学校22校で取り組んでいる。



柳川市立蒲池中学校 教頭 **古賀 靖紀**

昭和56年から前原市・那珂川町・柳川市の中学校教諭、南筑後教育事務所、福岡県立社会教育総合センターは、社会教育主事として勤務、平成19年4月から柳川市立蒲池中学校教頭として勤務。

これまで、蒲池地区は地域の「子どもたちの幸せと健やかな成長のために」を合言葉に、保育園・幼稚園・小中学校・公民館・補導員さんなど各地域団体が中心となる運動を展開し、現在では、学校を360度から支える心強い応援隊である。



豊前市教育委員会 社会教育係長 **栗焼 憲児**

1959年福岡県生まれ。平成8年社会教育主事資格取得。文化財担当として勤務する中で、平成11年より小学校の出前歴史授業に取り組み子ども達に対する歴史教育を実践。平成12年から5年間、豊前市教育委員会が旧大島村（現：宗像市）で実施した小中学生の長期野外体験活動にスタッフとして参加。

現在、社会教育担当として子ども会活動やアンビシャス広場等連携事業、通学合宿推進事業などに取り組む。



筑紫区小学校PTA連合会 会長 **西村 澄子**

中学校教諭として7年間勤めた後、結婚、三人の母として子育て中。平成16年森の木幼稚園母の会会長、平成18・19年春日市立春日小学校PTA副会長、平成20・21年同小PTA会長。本年度は、筑紫区小学校PTA連合会会長兼、第54回九州PTA福岡県大会第5分科会実行委員長。

福岡県PTA連合会では、県民運動の「教育力向上」を支援し、“新”家庭教育宣言、県下一斉親子ふれあい運動を実践中である。春日市では、地域運営学校（コミュニティスクール）制度を導入し、学校・地域・家庭が「共育」し、子育てに取り組んでいる。

==== x ㄗ ====

A series of horizontal dotted lines for writing.

福岡県公民館大会年表

大会	日 時	開 催 地	大 会 主 題	全体討議テーマ
第1回	昭和28年1月	県社会教育会館		
第2回	昭和29年4月	八 幡 市		
第3回	昭和29年11月 19日～20日	筑紫郡二日市町 中央公民館	社教法5周年、青振法1周年を記念し公民館・青年学級の重要な諸問題を研究討議し、具体策を探り、既に展開している生活自立運動の促進を期す。	公民館の振興はいかにあるべきかー社会教育の反省と将来
第4回	昭和30年11月 21日～22日	大牟田市中 央公民館	戦後10年間の公民活動を反省し、困難な諸問題について徹底的に研究協議を行い、具体的振興策を樹立すると共に生活自立運動の推進を期す。	赤字財政下の公民館をいかに振興するか。
第5回	昭和31年10月 25日	飯塚市中央公民館	公民館を社会教育機関として整備強化し、勤労青少年教育の振興事業の効率化・総合化・大衆化をはかり、新生活運動の促進を期す。	公民館の現状はこのままでよいか。
第6回	昭和32年10月 19日	豊前市八屋中学校	地方財政の窮迫や町村合併のなかで、公民館の組織運営を強化し、特に分館施設の整備と活動の活発化をはかる。	新生活運動の反省と今後の推進方策について。
第7回	昭和34年11月 21日～22日	福岡市中央公民館	社教法施行10周年を記念し、公民館10年の歩みを顧み新しい時代に即応する公民館のあり方と振興方策の研究	公民館10年の歩みとこれからの公民館
第8回	昭和35年10月 3日～4日	大川市市民会館	公民館運営の科学化・技術化を促進し、地域の社会教育センターにふさわしいものとするために設置基準に即して、当面する問題の研究	地域の社会教育センターとしての公民館の整備を計画的に推進するためにはどうしたらよいか。
第9回	昭和36年6月 3日～4日	直方市公会堂	地域社会の文化センターとして住民の実生活に即する社会教育の総合的推進に寄与する公民館活動と経営のあり方を求めて]	地域の社会教育を総合的に推進するためにはどうしたらよいか。
第10回	昭和37年5月 13日～14日	行橋市行橋小学校	楽しく学び、豊かな暮らしと文化をつくるために公民館はどうしたらよいか。	青少年が楽しく学び健やかに成長するために公民館はどうしたらよいか。
第11回	昭和38年5月 25日～26日	北九州市戸畑区 文化ホール	住みよい地域社会に豊かな生活文化をつくらう。	新しい地域社会の建設と生活文化の向上発展に資するためには公民館はいかにあるべきか。
第12回	昭和39年5月 31日～6月1日	福岡市市民会館	ひとりひとりの生活をよくし、豊かな市民性を育てるために公民館はどうしたらよいか。	公民館への期待ーとくに市民性の向上を中心としてー
第13回	昭和40年5月 23日～24日	筑後市市民会館	変貌する社会における住民の社会教育活動を振興するための公民館の役割	地域住民の生活文化を高めるために果たすべき公民館の役割は何か。
第14回	昭和41年5月 24日～25日	田川市体育館	住民の創造的の生活の確立をめざす自主的な学習活動を育てよう。	住民の創造的の生活の確立のために (分科会テーマ)
第15回	昭和42年5月 14日～15日	豊前市市民会館	今日の生活を見つめ、明日の生活を築くための公民館の役割とそのための施設設備の充実と配置のあり方	地方自治と住民の学習 (記念講演)
第16回	昭和43年5月 28日～29日	北九州市 八幡市民会館	公民館の近代化と新しい活動の課題を求めて	社会生活の都市化と公民館の課題 (記念講演)
第17回	昭和44年5月 31日～6月1日	太宰府町九州学園 福岡女子短大	急激な社会構造の変化に対処し得る人間づくりと新しい地域形成のための住民の教育機関としての公民館の新しいあり方と役割	これからの新しい公民館のあり方と役割 (記念講演)
第18回	昭和45年5月 26日～27日	久留米市市民会館	未来をひらくための学習と公民館のあり方を考えよう。	公民館の理想と現実

大会	日 時	開 催 地	大 会 主 題		全体討議テーマ
第19回	昭和46年5月 25日～26日	飯 塚 市 文 化 セ ン タ ー	住民の学習にこたえられるための公民館の施設 設備を充実し、職員体制を整備し、市民社会を 育てるための教育をすすめよう。		岐路にたつ 70 年代の選択 (記念講演) 公民館の理想と 現実
第20回	昭和47年7月 6日～7日	行橋市市民会館	住民の日常的学習要求に応じる公民館体制の確立と 今日的役割を考え、また新しい地域社会(コミュニ ティ)形成のための公民館活動のあり方を考える。		明日を創る公民館の新路線 (記念講演)
第21回	昭和48年5月 30日	福岡市立少年 文化会館ホール	生活に根ざす公民館活動の創造と前進		生活に根ざす住民の教育要求 にこたえるための公民館の役 割(シンポジウム)
第22回	昭和49年6月 6日	(八女市) 市町村会館	魅力ある公民館の創造と前進	実 践 発 表 対 面 討 議 全 体 討 議	住民にとって公民館とは何か
第23回	昭和50年6月 1日	直方市民会館	豊かな地域づくりをめざす公 民館の役割	シ ン ポ ジ ウ ム 講 演	コミュニティの形成と公民館 これからの公民館経営
第24回	昭和51年6月 3日	豊前市民会館	住民の生活を高めるための公 民館事業のあり方を考える。	パ ネ ル 討 議 講 演	住民の求めに応ずる公民館事 業のあり方 住民の生活を高めるための公 民館事業
第25回	昭和52年9月 22日	北九州市小倉南 市民センター	住民の学習要求に応えるため の公民館のあり方を考える	分 科 会 (9) 講 演	これからの社会教育
第26回	昭和53年7月 5日	太宰府勤労者 体育センター	地域住民の学習要求に応える ための具体的な公民館のあり 方を考える	分 科 会 (8) 講 演	地域と社会教育
第27回	昭和54年7月 3日	大 川 市 文 化 セ ン タ ー	多様化する地域住民の学習要 求に応えるための公民館のあり 方を考える	分 科 会 (8) 講 演	地域が育てる児童文化
第28回	昭和55年6月 12日	中 間 体 育 文 化 セ ン タ ー	地域住民の実際生活に即した 公民館の在り方について	パ ネ ル 討 議 講 演	地域住民の実際生活に即した 公民館の在り方について
第29回	昭和56年6月 3日	行橋市民会館	公民館が果たすべき今日的意 義と役割を考える	講 演 シ ン ポ ジ ウ ム (3)	青少年をとりまく諸問題に対 処する社会教育
第30回	昭和57年6月 9日	北 九 州 市 小 倉 市 民 会 館	住民が主体となる公民館の在 り方を考える	講 演 分 科 会 (8)	住民が主体となる公民館の在 り方を考える
第31回	昭和58年8月 9日	福岡県立福岡勤労 青少年文化センター	「住民の実際生活に即した公民館の役割 と機能を考える」-今、公民館は地域住 民とともに何をしなければならないか-	講 演 分 科 会 (9)	「現代の青少年問題を考える」 -思いやりのある社会づくり のために-
第32回	昭和59年6月 22日	甘木文化会館	生涯教育の視点に立った公民 館経営の在り方を考える	講 演 パ ネ ル 討 議 (3) 分 科 会 (2)	ニューメディア時代を考える
第33回	昭和60年6月 13日	飯塚文化センター	生涯教育推進の拠点になる公 民館のあり方を考える	講 演 分 科 会 (8)	生涯教育の推進と公民館の役 割
第34回	昭和61年5月 30日	豊前市体育館	生涯学習を推進する公民館の 役割・機能を考える	講 演 分 科 会 (7)	生涯学習と放送
第35回	昭和62年8月 6日	北九州市立 小倉市民会館	生涯学習を推進する公民館の 役割・機能を考える	講 演 分 科 会 (7)	「豊かな心を育てる地域社会 の役割」
第36回	昭和63年7月 27日	福岡県立福岡勤労 青少年文化センター	生涯学習社会の形成をめざす 公民館のあり方を考える	講 演 分 科 会 (7)	「生涯学習社会における公民 館の役割」
第37回	平成2年11月 21日	筑紫野市文化会館	生涯学習社会をめざす公民館 のあり方を考える	講 演 シ ン ポ ジ ウ ム (1) 分 科 会 (4)	生涯学習社会における公民館 の役割

大会	日 時	開 催 地	大 会 主 題		全体討議テーマ
第38回	平成3年7月 31日	直 方 市 民 会 館	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講 演 分 科 会 (5)	地域に根ざした公民館活性化への提言
第39回	平成4年7月 30日	久 留 米 市 石橋文化センター	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講 演 分 科 会 (5)	学校週5日制…公民館はどうする！！
第40回	平成5年9月 17日	大 牟 田 市 大牟田文化会館	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講 演 分 科 会 (5)	ボランティアの心
第41回	平成6年7月 29日	田 川 市 田川文化センター	住民とともに生涯学習社会を目指す公民館の学習・交流活動のあり方	講 演 分 科 会 (5)	生涯学習社会における公民館の役割
第42回	平成7年8月 3日	行 橋 市 民 会 館	住民とともに生涯学習社会を目指す公民館の学習・交流活動の在り方	講 演 分 科 会 (5)	公民館を元気に未来的にしよう!!!-“愛されるため”の魅力アップ…インテリジェント化-
第43回	平成8年8月 7日	北 九 州 市 立 小倉市民会館	住民とともに生涯学習社会を目指す公民館の学習・交流活動の在り方	講 演 分 科 会 (5)	生涯学習時代における公民館-粋な生き方と学業国づくり-
第44回	平成10年8月 20日	志 免 町 立 町民センター	生涯学習時代における公民館の主体性と役割を考える	講 演 分 科 会 (5)	公民館のこれから-社会教育を取り巻く環境の変化に対応するために-
第45回	平成11年7月 30日	中 間 市 なかまハーモニーホール	生涯学習時代における公民館の主体性と役割を考える	講 演 分 科 会 (5)	子どもと地域の教育力
第46回	平成12年7月 28日	久 留 米 市 石橋文化ホール	新しい時代への期待、公民館の新たなあゆみを考える	講 演 分 科 会 (5)	新しい公民館活動のあり方～21世紀の公民館像をめぐって～
第47回	平成13年7月 27日	筑 後 市 サザンクス筑後	21世紀の到来、地域とともに歩む公民館活動の新たな戦略	講 演 分 科 会 (5)	家庭教育を支援する公民館活動のあり方
第48回	平成14年8月 2日	飯塚市文化会館	完全学校週5日制スタート、公民館の新たな役割を考える	講 演 分 科 会 (5)	社会教育の出番は、“今”～完全学校週5日制に対応した公民館活動のあり方～
第49回	平成15年7月 23日	苅田町立中央公民館	地域拠点としての公民館の新たな役割を探る	講 演 分 科 会 (3)	メディアから見た地域拠点としての公民館の役割
第50回	平成16年8月 31日	北 九 州 市 北九州芸術劇場	「地域拠点としての公民館、その半世紀とこれからの展望」～未来型公民館の在り方を探る～	講 演 分 科 会 (3)	「地域の学習拠点としての公民館」～現状と将来～
第51回	平成18年8月 3日	宗 像 市 宗像ユリックス	少子高齢社会に対応した公民館の在り方	講 演 シ ン ポ ジ ウ ム	地域へのメッセージ・会社の人から社会の人へ 少子高齢社会に対応した公民館の在り方を探る
第52回	平成19年8月 8日	直 方 市 ユメニティのおがた	「公民館の家庭教育支援、今、何ができるか」～子どもの生活リズム向上「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動～	講 演 シ ン ポ ジ ウ ム	家庭教育力を高めるために、社会教育の力を 公民館の家庭教育支援・今、何ができるか
第53回	平成20年8月 1日	朝 倉 市 サンライズ杷木	「学校・家庭・地域の連携を推進する公民館の役割」	講 演 シ ン ポ ジ ウ ム	「社会全体の教育力向上」～学校・家庭・地域の連携協力～ 「学校・家庭・地域の連携を推進する公民館の役割」

「公民館総合補償制度」のお取扱いは次のとおりです。

制度提供

社団法人 全国公民館連合会



引受保険会社

株式会社 損害保険ジャパン

※事故受付・保険金の支払いは全国各都道府県の株式会社
損害保険ジャパンのサービスネットワークにより対応いたしております。



見舞金支払事務委託先

有限会社 公民館補償共済センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-8

TEL 03-3501-0321

FAX 03-3501-3481



制度についてのお問い合わせ

本制度全般の取扱窓口
保険取扱代理店

エコー保険サービス株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-18

フリーダイヤル(通話料無料)

TEL  0120-636-717

(または 03-5562-0730)

FAX  0120-226-916

(または 03-5562-0732)

公民館総合補償制度

自治公民館を含むすべての公民館活動を支援する制度です。

市町村の公民館および自治公民館、また社会教育法に定められた「公民館の目的」に寄与するための施設は、名称を問わずご加入いただけます。

1. 行事傷害補償制度 [災害補償保険(公民館災害補償特約・熱中症危険担保特約)+共済見舞金]

- 公民館行事参加者のケガを補償します。
- 公民館利用者のケガを補償します。
- 行事準備中、行事往復途上のケガを補償します。
- 急性疾病死亡と公民館建物火災に共済見舞金を支給します。

補償例



● バレーボール大会参加者が転倒して負傷。

行事傷害補償制度のここがおすすめ

手続きが簡単!

● 年1回の加入手続きで年間行事が対象になり、個別の行事予定の通知は不要です。

対象者が広い!

- 親が参加する行事に同伴した同居の未就学児の往復途上も補償します。
- 行事参加者や公民館利用者の居住地は問いません。
- 公民館が公認するサークル活動の参加者も補償します。

補償範囲が広い!

- 日本国内であれば、行事の場所は問いません。 ※別に定める危険な運動中などは対象外です。
- 公民館が参加者を事前に名簿で把握している場合は、往復途上も補償します。
- 食中毒や熱中症も補償します。
- 有償・無償を問わず公民館ボランティアや講師も補償します。
- 宿泊をとまなう行事も対象です。

掛金の割引あり!

● 同一市町村内で10館以上まとめて加入する場合には、掛金の割引制度があります。

補償例



● テントの張り方が悪く風で飛ばされ、行事来場者の車を破損。

2. 賠償責任補償制度 [賠償責任保険(施設所有管理者特約・昇降機特約)]

- 公民館の施設の欠陥や業務運営のミスにより第三者にケガをさせたり、物を破損し、公民館が法律上の賠償責任を負担した場合に補償します。

注) 公民館が使用または管理する財物への賠償事故などは対象になりません。

3. 職員災害補償制度 [普通傷害保険(就業中のみ危険担保特約)+共済見舞金]

- 公民館業務に携わる方の業務中のケガを補償します。
- 病気や業務外のケガに共済見舞金を支給します。

補償例



● 職員が業務中に脚立から転落して負傷。

このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては「平成21年度版マニュアル 公民館総合補償制度の手引き」をご覧ください。また、本制度全般のお問い合わせ、資料請求等は、エコー保険サービスまたは損保ジャパンまでお寄せください。

■引受保険会社



株式会社 損害保険ジャパン

営業開発第一部第三課

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL 03-3349-4037

■取扱代理店(お問い合わせ・資料請求先)

エコー保険サービス株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-18

TEL ☎ 0120-636-717

FAX ☎ 0120-226-916

公民館総合補償制度

◆補償額と年間掛金 (平成21年5月1日午後4時から保険期間1年)

※掛金は、保険料と共済掛金の合計額です。ただし、賠償責任補償制度の掛金は、保険料のみの金額です。

1. 行事傷害補償制度 <災害補償保険(公民館災害補償特約・熱中症危険担保特約)+共済見舞金>

タイプ		S 型	M 型	L 型	O 型		
保 険 金 額	死亡・後遺障害	600万円	800万円	1,000万円	1,200万円		
	入院(1日あたり)	2,400円	3,600円	4,800円	6,000円		
	手術	手術の種類により入院日額の10倍、20倍、40倍					
共 済 見 舞 金	通院(1日あたり)	1,200円	1,800円	2,400円	3,000円		
	急性疾病死亡	60万円	80万円	100万円	120万円		
	建物火災(限度額)	60万円	80万円	100万円	120万円		
1 公 民 館 あ た り の 年 間 掛 金 ※掛金のうち<>内 の金額は保険料 (単位:円)です。	世 帯 数 区 分	A	1001 世帯以上	81,000円 <69,500>	114,000円 <97,900>	153,000円 <131,300>	189,000円 <162,200>
		B	501 ~ 1000 世帯	69,000円 <59,200>	96,000円 <82,400>	132,000円 <113,300>	165,000円 <141,600>
		C	301 ~ 500 世帯	57,000円 <48,900>	78,000円 <67,000>	108,000円 <92,700>	135,000円 <115,800>
		D	201 ~ 300 世帯	42,000円 <36,100>	60,000円 <51,500>	81,000円 <69,500>	102,000円 <87,600>
		E	101 ~ 200 世帯	30,000円 <25,800>	42,000円 <36,100>	57,000円 <48,900>	72,000円 <61,800>
		F	100 世帯以下	21,000円 <18,000>	30,000円 <25,800>	39,000円 <33,400>	51,000円 <43,700>

* 公民館が管轄する世帯数により、加入掛金が異なります。

2. 賠償責任補償制度 <賠償責任保険(施設所有管理者特約・昇降機特約)>

タイプ	A 型	B 型	C 型
保険金額(1事故あたり)*	5,000万円	1億円	2億円
1公民館あたりの年間掛金	3,000円	4,000円	5,000円

※1回の事故について、身体賠償と財物賠償のお支払額は合計して保険金額を限度とします。

* 賠償責任補償制度にお申し込みの場合は、行事傷害補償制度とセットでご加入ください。

3. 職員災害補償制度 <普通傷害保険(就業中のみの危険担保特約)+共済見舞金>

タイプ		A 型	B 型	C 型	D 型	
保 険 金 額	死亡・後遺障害	500万円	800万円	1,000万円	1,200万円	
	入院(1日あたり)	2,400円	3,600円	4,800円	6,000円	
	手術	手術の種類により入院日額の10倍、20倍、40倍				
	通院(1日あたり)	1,200円	1,800円	2,400円	3,000円	
共 済 見 舞 金	死亡	10万円	20万円	30万円	40万円	
	入院	10~30日	3万円	5万円	7万円	10万円
		31~60日	5万円	7万円	10万円	15万円
		61日以上	7万円	10万円	15万円	20万円
1名あたりの年間掛金 ※掛金のうち<>内の金額は保険料(単位:円)です。		2,700円 <1,780>	4,200円 <2,770>	5,500円 <3,570>	6,700円 <4,380>	

* 平成21年5月1日における加入者数(被保険者数)等により、保険金額等ご加入の条件が変更になる場合がありますのでご了承ください。

* 職員災害補償制度の保険部分については、団体特有の割引を適用しています(団体割引20%、優良割引25%等)。

* 1公民館で複数人が加入をする場合、同一タイプを選択してください。掛金×人数が合計掛金となります。

※このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては下記エコー保険サービスまたは損保ジャパンまでお問い合わせください。

■引受保険会社



株式会社 損害保険ジャパン

営業開発第一部第三課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL 03-3349-4037

■取扱代理店 (お問い合わせ・資料請求先)

エコー保険サービス株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-18
TEL 03-5562-0730 FAX 03-5562-0732

エコー保険サービス(株) お客様専用フリーダイヤル(携帯・PHSからでもご利用になれます)

TEL (フリーダイヤル) 0120-636-717 FAX (フリーダイヤル) 0120-226-916

(SJ08-10673, 平成21年2月12日作成)

目 次

第54回福岡県公民館大会によせて	1
第54回福岡県公民館大会開催要項	2
平成21年度公民館役職員表彰一覧	4
平成21年度優良公民館表彰一覧	7
記念講演	8
説 明	10
シンポジウム	11
福岡県公民館大会年表	13
福岡県公民館連合会ホームページについて	

『北原白秋生家』

北原白秋の生家は、代々柳川藩の御用達を務めていたほどの名家でしたが、明治 34 (1901) 年の大火で大部分が焼失してしまいました。その後、所有者が変わるなど紆余曲折があり、一時は取り壊しの話もありましたが、昭和 44 (1969) 年に県文化財史跡の指定を受け、白秋の少年時代の姿に復元されました。

館内には著書や遺品が展示され、在りし日の白秋に思いを馳せることができます。

『柳川川下り』

全国的にも有名な川下りは、情緒ある景色を眺めながら、気ぜわしい日常から離れて、ゆったりとした時間を過ごすことができます。旧城下町を巡るコース上の城堀沿いには、堀割の巡るまち・柳川の歴史を感じさせる見所がたくさんあります。

『御花』

柳川藩主立花家の別邸として建てられたもので、このあたりの地名から「御花」と呼ばれるようになったといわれています。現在の建物は明治 41 (1908) 年から 43 (1910) 年にかけて作り直されたもので、明治建築様式のモデルでもあります。

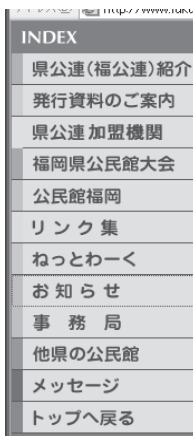
福岡県公民館連合会ホームページについて

福岡県公民館連合会では、市町村の特色ある公民館活動や県公連の活動状況、実践交流会で発表された実践事例等をホームページに掲載し、情報提供に努めています。

福岡県公民館連合会ホームページ：<http://www.fukuokaken-kominkan.jp/>



Yahoo や Google などの検索サイトから「福岡県公民館連合会」と入力してもご覧になれます。



ホームページのINDEXです。

- 「お知らせ」に新着情報を掲載していきます。
- 「メッセージ」へは、当連合会への意見・質問等をお書きください。



県公連と県内公民館を結ぶ情報誌です。年3回ホームページ上で発行しています。

(7月、11月、3月)

- 市町村のページ特集「公民館と子どもたち」
- こちら県公連
- 県のページ・全国のページ

定期更新(年3回)以外に、新着情報の随時更新を行います。
ぜひ、ご覧ください。